



いちようだより

第7号

令和7年10月16日



前期終業式・後期始業式

10月10日に前期終業式を行いました。校長先生から、学校行事や学習を通して一回りも二回りも大きく成長したことを褒めていただき、子供たちは大変喜びました。世界陸上に出場した田中希実選手の話から「礼に始まり礼に終わる」ことを学びました。「時を守り、場を清め、礼を正す」をレベルアップするために、「先言後礼」を頑張ろうという話を、真剣に聞きました。そのあと2年生・4年生の児童が「前期頑張ったこと」を発表しました。運動会や算数の計算、当番活動、あいさつなど諦めず続けたことを発表しました。発表を聞いて次頑張ろう！と思った人もいたようでした。



秋休みが終わり、10月16日から後期が始まりました。後期の目標を決め、頑張ろうと思っている子供たちがいっぱいです。「夢と志をもち、よりよく生きようとする板城っ子の育成」のため、教職員一丸となって指導してまいります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力、よろしくお願いします。



稲こぎ(5年)

5年生が地域の皆様のご指導の下で米作り体験活動をさせていただく中で、最後の稲こぎを行いました。田植から稲こぎ(脱穀)まで、地域の方々のご支援のおかげと深く感謝しております。この活動を通して、収穫の喜びを味わうと同時に、米作りの大変さや苦労についても学ぶことができました。体験活動で学んだことを、今後の学校生活で生かしてまいります。住民自治協議会の皆様、地域・保護者の皆様、多くのご協力をいただき、ありがとうございました。



アイマスク体験(3年)

3年生がアイマスク体験を行いました。社会福祉協議会の皆様、民生委員児童委員の皆様にご協力いただきました。目の見えにくい人へのサポートの仕方など丁寧に教えていただきました。実際にアイマスクを着けてみると、普段何でもない階段や廊下が怖かったり、段差が分かりにくいことに気付いたりすることができました。ガイド役をすると、一つ一つ教えることが意外に難しかったようです。困っている人にやさしい言葉かけができる板城っ子の貴重な学習になりました。



社会見学

10月3日に1年生は安佐動物公園へ、3年生はエブリイ・のん太の酒蔵・東広島市消防局へ社会見学に行きました。あいにくの雨でしたが、教室を飛び出しての学習ということで子供たちはとても嬉しそうでした。動物公園ではたくさんの動物を見ただけでなく、8月5日に生まれたマルミミゾウの赤ちゃんが、お母さんゾウに甘える姿も見られたようです。エブリイでは、働く人の工夫や大変さを知るだけでなく、おみやげももらったようです。消防局では、通信指令室や消防車の様子を見て、驚きや学びがたくさんありました。



11月の行事予定

1	土	ひがしひろしま教育の日
4	火	委員会活動
5	水	板城元気っ子デー
6	木	心のサポーター高橋先生 全体授業研究(3-2)
7	金	道徳授業参観(3校時10:25~) 5年米販売 PTAリサイクル会
11	火	学習発表会リハーサル
12	水	スクールカウンセラー大空先生
13	木	授業研究(ことば1・理科)
14	金	学習発表会前日準備 14:50下校(1~5年) 15:40下校(6年)
15	土	学習発表会 8:50開会~11:40閉会予定 12:00 2グループ下校
17	月	振替休業日
18	火	クラブ活動
19	水	体育フォローアップ授業
20	木	心のサポーター高橋先生 板城ランニングチャレンジ事前検診 板城ランニングチャレンジ(持久走記録会)は 12月4日(木)に東広島運動公園にて実施予定 授業研究(ふれあい2・2-2・6-1)
26	水	ダイソー女子駅伝部陸上教室 教職員研修のため14:00一斉下校
27	木	授業研究(ふれあい3・1-2・4-1)
28	金	5年社会見学
29	土	県P研究大会

学校行事・参観日等でご来校の際はできるだけ徒歩か自転車等でお越しください。また、やむを得ず自家用車でお越しの際は、国道375号線の渋滞、グラウンド出入りの混雑を避けるため、歩道橋側からの左折入場、退場はグラウンドから西大沢方面へ左折してください。

長縄チャレンジ

10月2日、児童会執行部いじめ防止プロジェクトの一環で「長縄チャレンジ」を全校児童で行いました。学級で決めた目標を、お昼の放送で発表すると、各学級から「おー!!」という掛け声が職員室まで届きました。練習が始まると、友達と励まし合いながら声かけをし、長縄跳びを頑張りました。友達に跳び方をアドバイスする言葉や、全体を鼓舞する言葉など、あたたかい言葉がたくさん聞こえてきました。これからもあたたかい言葉があふれる板城小を大切にしたいと思います。



教育実習

9月1日から30日まで、本校の卒業生2名が教育実習を行いました。二人とも子供が大好きで、積極的に話をしたり、遊んだり、関わりを大切に実習しました。実習終盤には授業を行い、子供たちと真摯に向き合い、学びを深めると同時に、教えることの難しさも感じたようでした。二人ともたくさんの思い出と学びを大学に持ち帰り、学生生活を豊かなものに行っていると思います。今後立派に先生になって、板城小での経験を生かしてほしいです。

